

1. 科目名 (単位数)	公認心理師の職責 (2 単位)	3. 科目番号	PSMP3356
2. 授業担当教員	鈴木 康明		
4. 授業形態	講義、演習	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	<p>公認心理師とは、公認心理師登録簿への登録を受け、公認心理師の名称を用いて、保健医療、福祉、教育その他の分野において、心理学に関する専門的知識及び技術をもって、次に掲げる行為を行うことを業とする者をいいます。</p> <p>(1) 心理に関する支援を要する者の心理状態の観察、その結果の分析 (2) 心理に関する支援を要する者に対する、その心理に関する相談及び助言、指導その他の援助 (3) 心理に関する支援を要する者の関係者に対する相談及び助言、指導その他の援助 (4) 心の健康に関する知識の普及を図るための教育及び情報の提供</p> <p>このような職務を適切に遂行するために必要な知識と倫理を身につけるために、①公認心理師の役割、②公認心理師の法的義務及び倫理、③心理に関する支援を要する者等の安全の確保、④情報の適切な取扱い、⑤保健医療、福祉、教育その他の分野における公認心理師の具体的な業務、⑥自己課題発見・解決能力、⑦生涯学習への準備、⑧他職種連携及び地域連携について学びます。</p>		
8. 学習目標	①公認心理師の役割について理解し、説明できるようになる。 ②公認心理師の法的義務及び倫理について理解する。 ③心理に関する支援を要する者等の安全確保の方法を身につける。 ④情報の適切な取扱い方について理解する。 ⑤保健医療、福祉、教育その他の分野における公認心理師の具体的な業務を理解し、説明できるようになる。 ⑥公認心理師として求められる資質、技能、倫理について理解し、自己に求められる課題把握ができるようになる。 ⑦生涯学習への準備の必要性を理解する。 ⑧他職種連携及び地域連携について理解し、説明できるようになる。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	授業で取り上げる内容について、あらかじめ自分で確認し不明な点は調べておく。レポート課題の内容は公認心理師の職責に関するものとし、提出期限は最終授業日とする。		
10. 教科書・参考書・ 教材	【教科書】 野島 一彦【編・監修】『公認心理師の職責』遠見書房		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	○成績評価の規準 ①公認心理師の役割について理解し、説明することができる。 ②公認心理師の法的義務及び倫理について理解している。 ③心理に関する支援を要する者等の安全確保の方法を身につけている。 ④情報の適切な取扱い方について理解している。 ⑤保健医療、福祉、教育その他の分野における公認心理師の具体的な業務を理解し、説明できる。 ⑥公認心理師として求められる資質、技能、倫理について理解し、自己に求められる課題把握ができる。 ⑦生涯学習への準備の必要性を理解している。 ⑧他職種連携及び地域連携について理解し、説明できる。 ○評定の方法 学則で定められた単位取得の条件(3/4 以上の出席)を満たしていることを前提として、授業態度と参加姿勢 20%、試験 40%、課題レポート 40%で判断する。		
12. 受講生への メッセージ	対人援助者としての公認心理師になるためには長い道のりがあり、その途中では自分の公認心理師としての適性を確認することが必要となります。実習に出るまでに、自分の適性を見つめる努力をしておいて下さい。そして目的達成のため、次の事柄を遵守して下さい。 <ol style="list-style-type: none"> 常に高い緊張感と集中力を保って受講し、自己鍛錬を怠らない。 質問、発表を積極的に行い、主体性の形成に励む。 欠席、遅刻、早退をしないことで自己管理能力をつける。 勝手な退室や、講義に関係のない振る舞い、私語、居眠り、スマートフォンの操作などをせず、常にセルフモニタリングにつとめる。なお、明らかに態度が悪いと判断された場合厳格な指導が行われる。その後も改善されない場合は全出席であってもF評価になることがある。 また教員は次のことを実行します。 <ol style="list-style-type: none"> 講義の目的を明確にし、シラバスに沿って講義する。 声の大きさや話し方など、受講者の聞きやすさ、わかりやすさについて配慮する。 討議や演習など受講者が積極的に講義に参加できる環境を作る。 受講者の質問には誠実に対応する。 受講者が上記のメッセージ1～4 が守らない場合、厳格に対処する。 		
13. オフィスアワー	別途通知する		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	公認心理師の役割について	事前学習	教科書 11-21 頁を読み、要点を整理する。
		事後学習	教科書 11-21 頁について復習し、不明な点について補う。
第2回	公認心理師の法的義務・倫理について	事前学習	教科書 22-34 頁を読み、要点を整理する。
		事後学習	教科書 22-34 頁について復習し、不明な点について補う。

第3回	クライアント/患者らの安全確保について	事前学習	教科書 35-47 頁を読み、要点を整理する。
		事後学習	教科書 35-47 頁について復習し、不明な点について補う。
第4回	情報の取り扱いについて	事前学習	教科書 48-60 頁を読み、要点を整理する。
		事後学習	教科書 48-60 頁について復習し、不明な点について補う。
第5回	保健医療分野における業務について①	事前学習	教科書 61-73 頁を読み、内容を整理する。
		事後学習	教科書 61-73 頁について復習し、不明な点について補う。
第6回	保健医療分野における業務について②	事前学習	保健医療における業務について具体的に調べる。
		事後学習	グループ討議で検討した内容のうち不明な点について補う。
第7回	福祉分野における業務について①	事前学習	教科書 74-83 頁を読み、内容を整理する。
		事後学習	教科書 74-83 頁について復習し、不明な点について補う。
第8回	福祉分野における業務について②	事前学習	福祉分野における業務について具体的に調べる。
		事後学習	グループ討議で検討した内容のうち不明な点について補う。
第9回	教育分野における業務について	事前学習	教科書 84-96 頁を読み、要点を整理する。
		事後学習	教科書 84-96 頁について復習し、不明な点について補う。
第10回	司法・犯罪分野における業務について	事前学習	教科書 97-109 頁を読み、要点を整理する。
		事後学習	教科書 97-109 頁について復習し、不明な点について補う。
第11回	産業・労働分野における業務について	事前学習	教科書 110-120 頁を読み、要点を整理する。
		事後学習	教科書 110-120 頁について復習し、不明な点について補う。
第12回	支援者の自己課題発見・解決能力について	事前学習	教科書 121-130 頁を読み、要点を整理する。
		事後学習	教科書 121-130 頁について復習し、不明な点について補う。
第13回	生涯学習への準備について	事前学習	教科書 131-141 頁を読み、要点を整理する。
		事後学習	教科書 131-141 頁について復習し、不明な点について補う。
第14回	多職種連携、地域連携について	事前学習	教科書 142-155 頁を読み、要点を整理する。
		事後学習	教科書 142-155 頁について復習し、不明な点について補う。
第15回	公認心理師の今後の展開について	事前学習	教科書 156-169 頁を読み、要点を整理する。
		事後学習	教科書 156-169 頁について復習し、不明な点について補う。
期末試験			